

アメリカでの研修を通じて

渡 邊 祐 斗

Yuto WATANABE

機械システム工学科 3年

1. はじめに

私は2016年8月11日から29日までグローバル人材育成プログラムに参加しました。このプログラムではインテルやグーグルなどの企業の見学、アメリカの企業で活躍されている方々の体験談を聞くセミナー、シリコンバレーでのインターンシップが主な内容でした。今回私は Nippon Trends Food Service Inc. という麺類の製造と販売をしている企業の工場でのインターンシップをさせていただきました。

2. 志望動機と実習の目的

私がこのプログラムに参加しようと思った理由は3つありました。1つ目は英語で外国人の方と話した時の喜びを味わいたい、英語でのコミュニケーションを楽しみたいという単純な理由でした。2つ目は日本では体験できないことをしたい、いつもの日常生活とは離れ、海外での生活を体験したいことでした。3つ目は多様な文化や考え方を持つ人々と出会いながらグローバルな視点で物事を考えるようになりたいためでした。外国の人々の文化や考え方を知り、それらを理解しながらグローバルな考えを身に付けることを目的としました。そして、実習中に積極的に英語でのコミュニケーションを図ることも目標としました。

3. セミナー

8月13日、アメリカで起業、活躍されている日本人の Kuniaki Kudo さん Hikaru Tomura さん Makoto Hokazono さんの講演を聞き、その後ディスカッションを行いました。そこでは、日本を離れアメリカで仕事を行う意味ややりがいを聞くことができました。講演をしていただいた3名の方は日本で

の仕事とアメリカでの仕事を経験されていて仕事に対する向き合い方、時間、やり方の違いをそれぞれの視点からお話しいただき、海外で働く可能性のある自分自身の将来の助けになりました。さらに、日本の企業に就職するという考えしかなかった私に起業という選択肢の存在を示してもらえる機会となりました。

4. ホームステイ

サンノゼの Piedmont 通りにある Rosario ファミリー宅にホームステイしました。息子さん1人娘さん2人とご両親の5人家族でしたが、それぞれ仕事がお忙しく娘さんは特に出会える機会が少なかったです。Rosario ご夫妻は英語だけでなくタガログ語もはなされていて、春休みにフィリピンでボランティアをしていたこともあり、タガログ語を思い出して話すと盛り上がるが多かったです。アメリカでのホームステイは家庭内でのルールが厳しいことが多いと聞いていましたが Rosario さんの家庭はそのようなこともなく、美味しい食事を毎日出してくださる、一緒にフィリピンのテレビ番組を見ながら楽しむことができ自分自身の家族の家であるかのように過ごすことができました。

5. インターンシップ

私が今回インターンシップを経験させていただいた企業はサンノゼにある Nippon Trends Food Service Inc. でした。こちらは日系の企業でスーパーやレストランにむけて各種麺類を製造していました。研修内容は自分自身が機械システム工学科ということもあり、その専門と関わりがある機械のメンテナンスを作業室(図1)でさせていただきました。作業の主な内容は、工場内の機械のメンテナンスや清掃、麺を包装機する機械(図2)の修理でした。このメンテナンスの仕事は社員である中国系のリュウさんと日本人のジロウさんのお二人が担当されていて、私は主にリュウさんについて一緒にお仕事をさせていただきました。私にはまだまだ機械を修理す

るための技術が乏しく、リュウさんに機械の扱い方や仕組みについて説明してもらいながら手伝いを行



図1 メンテナンス室



図2 麺の包装機

っていました。メンテナンスの仕事は包装機だけでなく、その日壊れたプリンターの修理依頼をされたり工場の配線工事も行ったり、工場内での様々なトラブルに対処しなければならないためこの実習は私にとって多くの知識を得る機会となりました。修理時に部品がない、ネジのサイズがインチ表記であるために大きさを合わせるなど困ることもありました。そういったときに別の部品で代用するなど工夫して取り組む姿勢を学ぶこともできました。また、ここは日系企業であったため日本人の社員さんが多かったのですが、ヒスパニック系の方も多く、企業ではスペイン語と日本語が飛び交っていました。

6. おわりに

今回の研修では実体験を通して学ぶことが多く、普段の大学の学習では学ばないことを知ることができました。企業内では英語を使う機会がありませんでしたが、ホストファミリーと英語での会話を楽しんだり、休日はサンフランシスコの行き帰りのときに電車の乗り換えや、場所を尋ねるなど見知らぬ人と英語で話したりすることで、積極的に英語を使うことができました。家ではフィリピンの方、企業先ではメキシコや中国の方と共に過ごし、観光先でも様々な文化や言語にふれ、グローバルというものも体感することができました。さらに、セミナー等で得たことを通じてアメリカで暮らす、仕事をする自分を実現したいと強く思える研修となりました。